

お客様各位

農薬登録のご連絡の件

首記の件、下記について登録されましたのでご連絡致します。

記

・適用拡大 2021年5月26日付(2件)

(1) オーケストラフロアブル

登録第 24424 号

使用方法の追加: 散布/ウカ類幼虫、ツマグロヨコバイ幼虫、200倍、25ℓ/10a(ハンクル処理)

無人航空機による散布/ウカ類幼虫、ツマグロヨコバイ幼虫、8倍、0.8ℓ/10a

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペンスピリキサンを含む農薬の総使用回数
稲	ウカ類幼虫 ツマグロヨコバイ幼虫	1000倍	60~150ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
		200倍	25ℓ/10a			無人航空機による散布	
		8倍	0.8ℓ/10a				

【追加する注意事項】

- ・本剤を希釈倍数 200 倍で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用すること。
- ・無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守ること。
  - (1) 散布液調製後はできるだけ速やかに散布すること。
  - (2) 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施すること。
  - (3) 散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
  - (4) 散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
  - (5) 散布薬液の飛散によって動植物及び自動車の塗装やカータンの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
  - (6) 散布終了後は次の事項を守ること。
    - a. 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理すること。
    - b. 機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。

## (2) 日農モスピランSL液剤

①適用病害虫名の追加:キャベツ/キスジノミハムシ(2000倍)

②希釈倍数の変更:かんきつ(アブラムシ類、ミカンモグリガ、コアオハナムグリ、ケキスイ類、アゲハ類、コナジラミ類)

/4000倍⇒2000～4000倍

ばれいしよ(テトウムシダマシ類、ナストビハムシ)/4000倍⇒2000～4000倍

だいず(アブラムシ類、フタスジヒハムシ)/4000倍⇒2000～4000倍

はくさい、キャベツ、だいこん(アブラムシ類)/4000倍⇒2000～4000倍

## 【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチプロト <sup>®</sup> を含む農薬の総使用回数		
かんきつ	アブラムシ類、ミカンモグリガ コアオハナムグリ、ケキスイ類 アゲハ類、コナジラミ類 アザミウマ類、カイガラムシ類 ゴマダラカミキリ成虫 カメシ類、ミカンハエ	2000～ 4000倍	200～700 ℓ/10a	収穫14日 前まで	3回以内	散布	3回以内		
	ゴマダラカミキリ	200～ 400倍	30～75 ℓ/10a					主幹から 株元に散布	
ばれいしよ	テトウムシダマシ類 ナストビハムシ	2000～ 4000倍	100～300 ℓ/10a	収穫7日 前まで		3回以内		散布	4回以内 (植付時の土壌混和は 1回以内、 植付後は3回以内)
	アブラムシ類	2000～ 6000倍							
		1000倍	3.2ℓ/10a						
だいず	アブラムシ類、カメシ類 マジンクイガ、フタスジヒハムシ	2000～ 4000倍	100～300ℓ /10a	収穫14日 前まで		3回以内		散布	3回以内
はくさい	コナガ、アオムシ	2000倍							4回以内 (粒剤の定植時までの 処理は1回以内、 散布及び定植後の 株元散布は 合計3回以内)
	アブラムシ類	2000～ 4000倍							6回以内 (粒剤の定植時までの 処理は1回以内、 散布及び定植後の 株元散布は 合計5回以内)
キャベツ	コナガ、アオムシ キスジノミハムシ	2000倍	/10a	収穫7日前 まで	5回以内	散布	6回以内 (粒剤の定植時までの 処理は1回以内、 散布及び定植後の 株元散布は 合計5回以内)		
	アブラムシ類	2000～ 4000倍							
だいこん	コナガ、アオムシ	2000倍		収穫14日 前まで	1回		1回		

\* 注意事項の変更はありません。

以上